

SDGsを目指す農林水産業の未来のために

近畿大学アグリ技術革新研究所 第40回オープンセミナー

2025年9月10日（水）

13：00～14：30

近畿大学農学部 **211**教室

入場無料
申込不要

ライブイメージングで迫る植物の感覚

講師 | 豊田 正嗣

埼玉大学大学院 理工学研究科 教授
JST ERATO 豊田植物感覚プロジェクト
サントリー生命科学財団 SunRiSE
華中農業大学 植物科学技術学院

道端に生えている草花や畑で育てられている野菜は、踏みつけられても、虫にかじられても何も感じていないように見えます。しかし実際には、外界からの刺激や情報を鋭敏に感知し、瞬時に反応しています。例えば、植物には神経や脳はありませんが、傷つけられたことを感じて、その情報を全身へ伝えることができます。オジギソウやハエトリソウとのような「動く植物」は、触れられた刺激に反応して瞬時に葉を閉じることができます。さらに植物は、傷ついた部位から揮発性物質（匂い）を空気中に放出し、近くの別の個体に危険を知らせることもできます。近年、バイオセンサーや蛍光顕微鏡といったイメージング技術の進歩により、これまで見えなかった植物の内部の情報伝達や植物間コミュニケーションが可視化されつつあります。本講演では、最新のライブイメージング技術によって明らかになった植物の驚くべき“感覚”について紹介します。

世話人 | 川崎 努（近畿大学アグリ技術革新研究所 教授）
お問い合わせ | t-kawasaki@nara.kindai.ac.jp